

わたしたちの川

① 川崎市を流れる川

みんなのまちを流れている川は、
どれでしょう。
また、川はどのような川で
しょうか。



多摩川には、②～⑧の川が流れ込んでいます。

鶴見川には、⑩～⑬の川が流れ込んでいます。



多摩川



三沢川



旧三沢川



鶴見川



麻生川



片平川



山下川



五反田川



平瀬川支川



鶴見川 (谷本川)



真福寺川



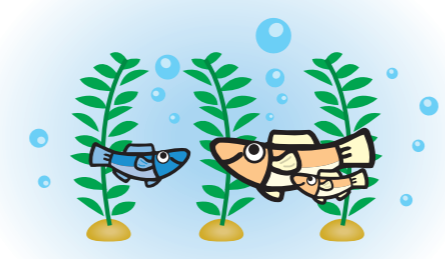
早野川



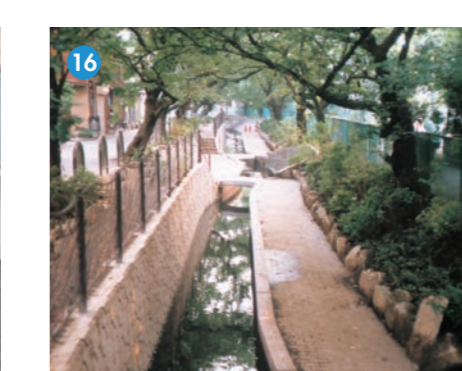
平瀬川



二ヶ領用水



有馬川



渋川

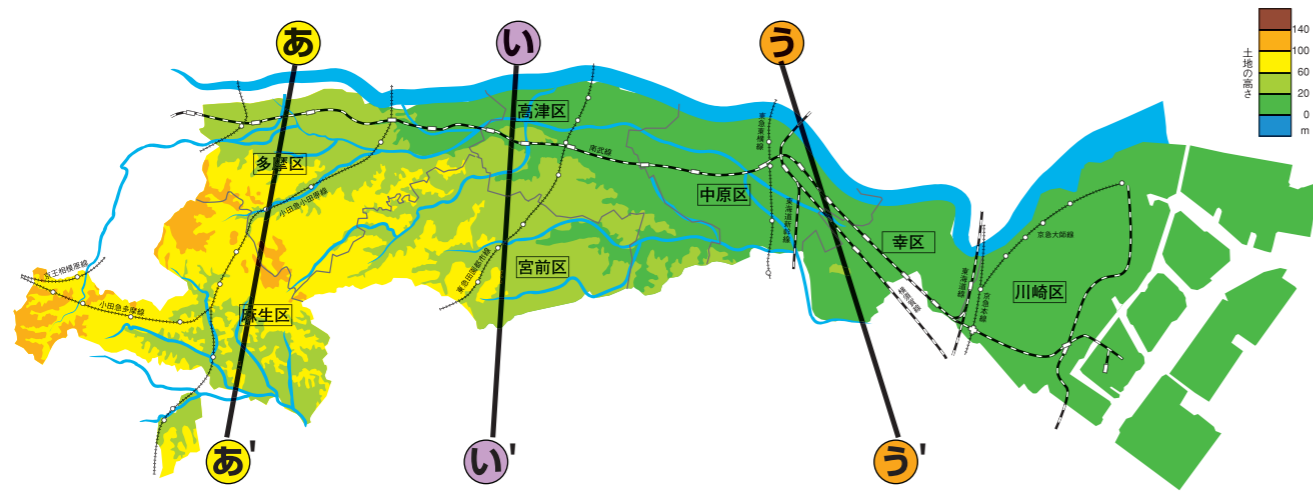


矢上川

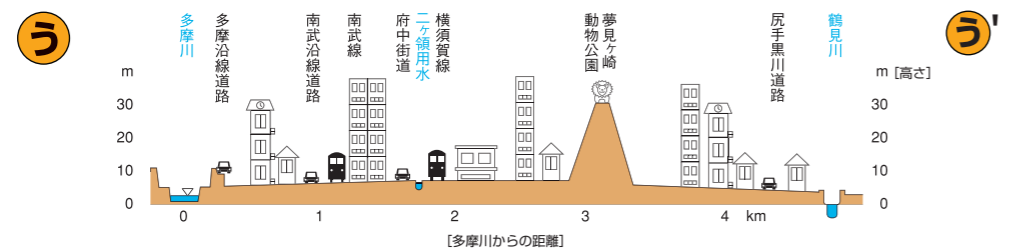
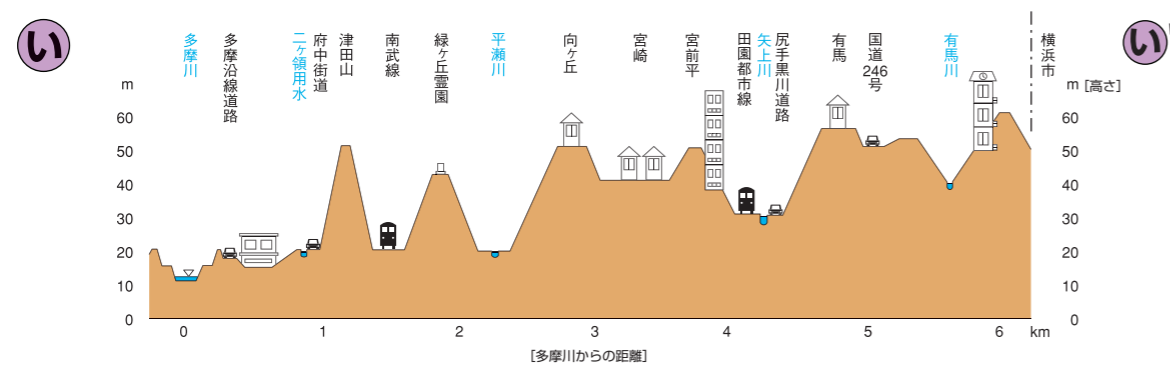
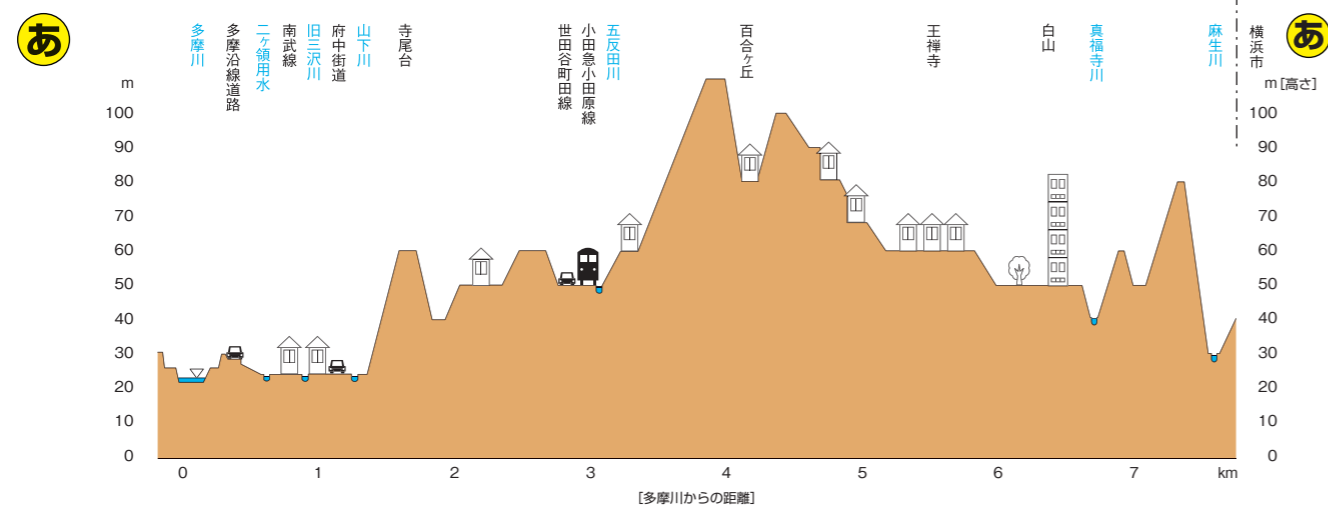
川崎港

わたしたちの川

川は、どのような高さの所を流れているのでしょうか。



川は、周りの土地よりも低く窪んでいるところを流れています。
降った雨は、高いところを流れる小さな川から、低いところを流れる大きな多摩川や鶴見川へつながり、海へ流れ込みます。



② 今も暮らしに役立っている二ヶ領用水

今、二ヶ領用水は、どんなことに使われているのでしょうか。



水田や畑 (多摩区)



工場などで使う工業用水 (多摩区)



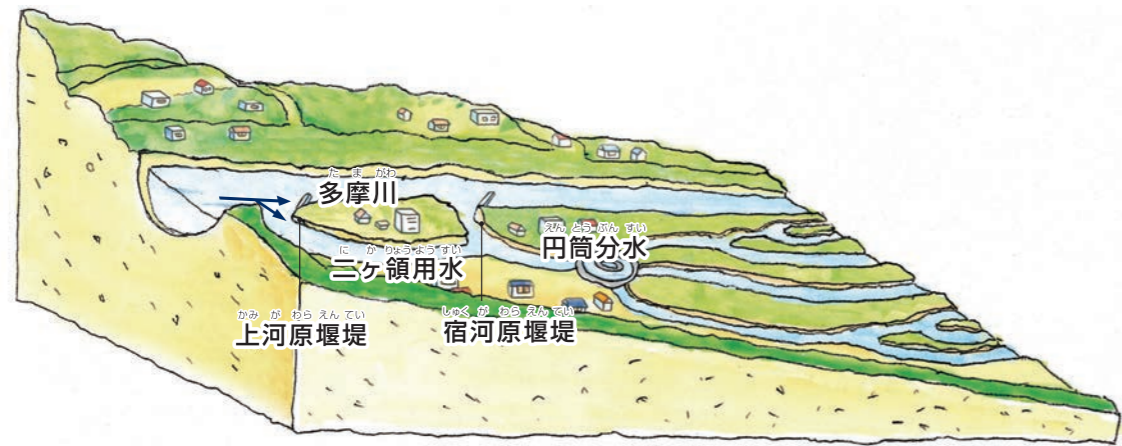
遊び場 (多摩区)



春は桜の名所 (多摩区)

わたしたちの川

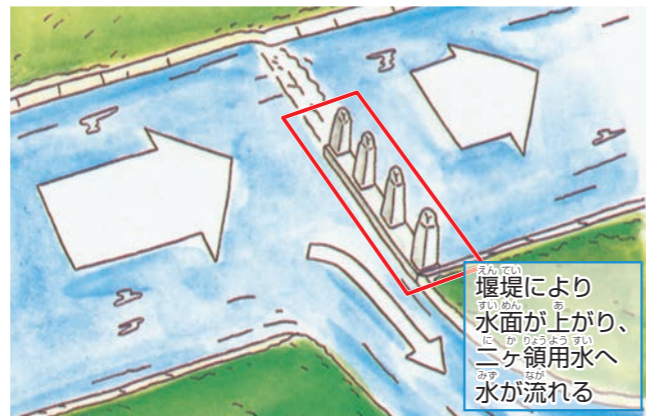
二ヶ領用水はどのように流れているのでしょうか。



多摩川の水を広い範囲に平等に流すために次のような様々な工夫がされています。



上河原堰堤 (多摩区菅稲田堤)

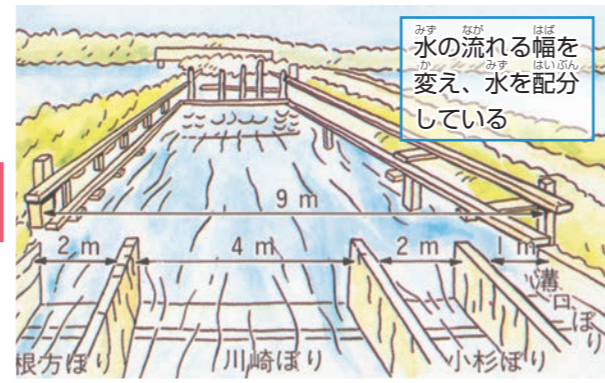


堰堤により
水面が上がり、
二ヶ領用水へ
水が流れる

堰堤の仕組み

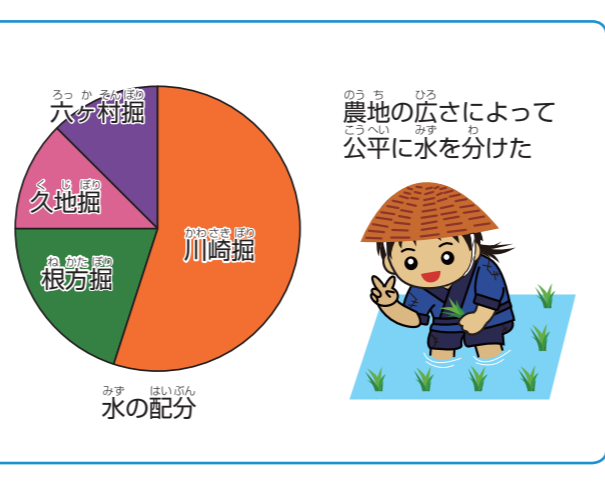
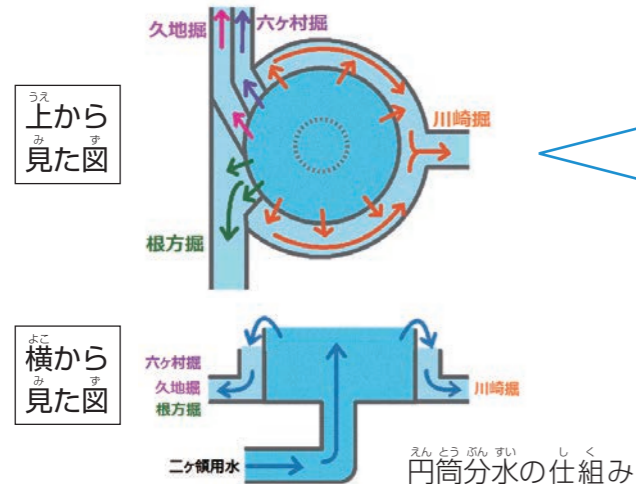


(今) 二ヶ領分水 (高津区久地)



水の流れる幅を
変え、水を配分
している

(昔) 久地の分量樋



農地の広さによって
公平に水を分けた



二ヶ領用水は、どのように変わってきたのでしょうか。



昔の二ヶ領用水では、洪水になることもあり
ました。



洪水を防ぐために、川の幅を広げたり、
深くしたりしました。



みんなが遊べるようになっている所もあります。

二ヶ領用水をきれいにするために、色々な活動をしています。



二ヶ領用水をきれい
にする運動も高まっ
てきました。



川が汚れたときには、
川の石をきれいにし
ます。

国登録記念物

400年以上前から、農業用水や工業用水として利用されてきた二ヶ領用水は、現在では、市民が親しめる場所として利用されています。

川崎の歴史を知る上で、大切な宝物として次の世代につなぐため、令和2年3月10日に、国の登録記念物に登録されました。登録されたことで、二ヶ領用水の歴史的な価値が知られるとともに、貴重な用水として守られていきます。

※国登録制度は、法律によって、歴史的なモノや遺跡などを登録し、保存しながら積極的に活用していくためにつくられました。



わたしたちの川^{かわ}

③昔の川^{むかし かわ}

川は、どんな役割をしていたのでしょうか。



アユをとっています。(多摩区菅稲田堤)



水泳をしています。(多摩区中野島)



障子のさんを洗っています。(川崎区塩浜)



砂利をとっています。



川には、この他にも色々な役割や働きがあります。

④これからの川^{かわ}

川は、これからどのように変わっていくのでしょうか。



みんなの憩いの場



水辺の散策



環境学習の場

川は、みんなの憩いの場として、よみがえろうとしています。かわいい生き物たちも、もっとたくさん帰ってくるでしょう。

川で遊ぶときの注意

- 川で遊ぶときは、大人と一緒にいく。
- 草むらに入るときは、長そで、長ズボンを着る。
- 釣りばりやガラスの欠片が落ちているので、裸足にならない。
- 台風や大雨のときは、絶対に水辺には近づかない。
- 大けがをしたとき、ヘビやカメに噛まれたとき、ハチに刺されたときは、すぐに近くの大人に助けを求める。



川の中は、急に深くなっているところもあるんだ。

